

## 肝炎とウイルス

今明らかとなる医原病の真実  
肝硬変・肝がん患者に医療費助成制度の創設を



**オール東北  
肝炎サポート大集会**

広げよう支援の輪 届けよう患者の声  
～肝硬変・肝がん患者への医療費助成実現のために～

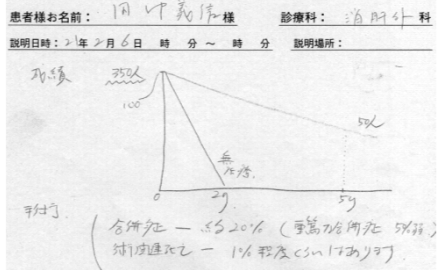
2015年4月25日  
全国B型肝炎訴訟原告団  
代表 田中 義信

## 5年で50%の生存率

- ◆ 2009年肝臓癌(がん)を発症!

患者様お名前: 田中義信様 診療科: 消化内科

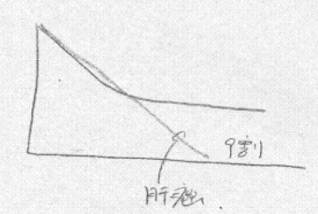
説明日時: 2015年2月6日 時分～時分 説明場所:



Yoshinobu Tanaka 2

## 10年で10%の生存率

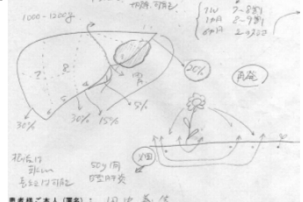
- ◆ がんは手術後、5年生存すれば、大丈夫。
- ◆ ただし、肝がんは10年で10%の方しか生きられない。



Yoshinobu Tanaka 3

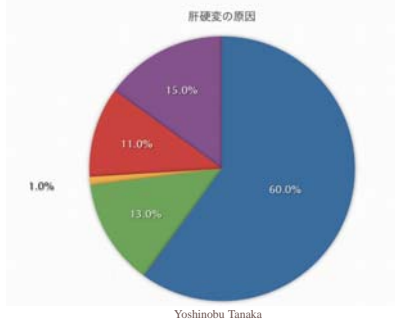
## 根治は難しい

- ◆ 50年間、B型肝炎キャリアなので種が飛び、根が伸びている。
- ◆ 再発の可能性が高い
- ◆ 根治は難しい



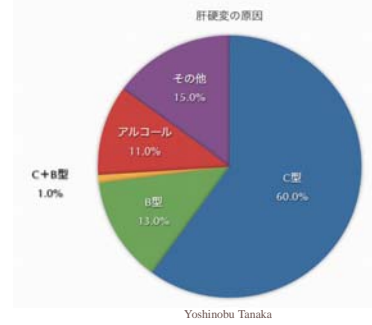
Yoshinobu Tanaka 4

ここで、問題です！



5

ここで、問題です！



6

ここで、問題です！



日本の肝がん患者の  
**85%**は  
B型・C型肝炎ウイルスが原因  
(肝がんによる死亡者年間約3万人)

Yoshinobu Tanaka

7

肝炎とウイルス 歴史



- ◆ 伝染病(天然痘、コレラ、等)流行 昔から大きな問題。
  - ・ 「医学の祖師」であるヒポクラテスも肝炎を記述
  - ・ チンパンジーも肝炎ウイルスに感染
- ◆ 1875年 内務省「種痘医規則」、「天然痘予防規則」布達
  - ・ 初めて強制種痘の制度を設けた
- ◆ 1914年 第一次世界大戦により輸血が普及
  - ・ 戦争の「道具」が消耗せず、何回か使える
  - ・ 日本でも輸血が普及

Yoshinobu Tanaka

8

## 肝炎とウイルス 歴史



- ◆ 1945年 終戦 伝染病が蔓延する劣悪な衛生状態
- ◆ 1948年 予防接種法
- ◆ GHQの指導により、「占領地の住民の健康よりも、泳力維持のためにまず自国の軍隊の保護が優先」
  - ・ 参考:「戦後行政の構造とディレンマ」 予防接種行政の変遷 (手塚洋輔著)

Yoshinobu Tanaka

9

## 肝炎とウイルス 歴史



- ◆ 1952年 赤十字血液銀行開業、商業血液銀行が開業→ 売血時代へ



Yoshinobu Tanaka

10

## 肝炎とウイルス 歴史



- ◆ 1964年 ライシャワー事件



11

## 肝炎とウイルス 歴史



- ◆ 1964年 ライシャワー事件
- ◆ 輸血後肝炎
- ◆ 献血制度へ



## 肝炎訴訟大まかな流れ



- ◆ 1989年から2006年 B型肝炎訴訟(先行訴訟)
- ◆ 2008年から現在 B型肝炎訴訟(第2次訴訟)
- ◆ 2011年6月28日 基本合意
  
- ◆ 2002年から2007年 薬害肝炎訴訟
- ◆ 2008年1月 薬害肝炎救済法
  - ・ 1964年から1994年頃まで、血液製剤で薬害によるC型肝炎感染被害救済
  - ・ 「特定フィブリノゲン製剤及び特定血液凝固第Ⅸ因子製剤によるC型肝炎感染被害者を救済するための給付金の支給に関する特別措置法」の通称
  
- ◆ 2009年12月 肝炎対策基本法制定 2010年施行
- ◆ 2010年6月 第1回肝炎対策推進協議会 2015年2月第13回
- ◆ 2011年5月 肝炎対策の推進に関する基本的な指針

Yoshinobu Tanaka

13

## 肝炎訴訟大まかな流れ



- ◆ 長い先行訴訟があつての私達の活動



Yoshinobu Tanaka

14

## 肝炎訴訟大まかな流れ



- ◆ 26年間の活動 第3ステージ



Yoshinobu Tanaka

16

## B型肝炎訴訟(先行訴訟)



- ◆ B型肝炎訴訟(先行訴訟)とは？
  
- ◆ B型肝炎患者・感染者が、B型肝炎ウイルスに感染した原因が、**集団予防接種による注射器の使い回しである**として、**国を被告として損害賠償を求めた裁判**
  
- ◆ 1989年から2006年

Yoshinobu Tanaka

## B型肝炎訴訟(先行訴訟)



- ◆ 2006年6月16日
- ◆ 最高裁判所は、B型肝炎ウイルスに感染した5人の原告全員について、B型肝炎ウイルスに感染した原因が、集団予防接種にあるとして、国の責任を認めた。

Yoshinobu Tanaka

17

## B型肝炎訴訟(先行訴訟)



- ◆ 最高裁で勝訴
- ⇒しかし、
- ⇒国は謝罪も、5人の原告以外に何も対策を取らなかった！
- ⇒2008年 第2次訴訟へ

Yoshinobu Tanaka

18

## 肝炎対策基本法



- ◆ 鳩山首相が、2009年11月10日に、日本肝臓病患者団体協議会、B型肝炎訴訟原告団、薬害肝炎訴訟原告団に肝炎対策基本法を成立させることを約束



Yoshinobu

2009/11/10

## 肝炎対策基本法



- ◆ 鳩山首相にも法案成立を要請



Yoshinobu Tanaka

20

## 肝炎対策基本法



- ◆ 2009年(平成21年)12月4日成立
- ◆ 2010年(平成22年)1月1日施行
- ◆ 我が国には、肝炎ウイルスに感染し、あるいは肝炎に罹(り)患した者が多数存在し、**肝炎が国内最大の感染症**となっている。

Yoshinobu Tanaka

21

## 肝炎対策基本法



- ◆ 第一章 総則
- ◆ (目的)
- ◆ 第一条 この法律は、肝炎対策に関し、基本理念を定め、**国**、地方公共団体、医療保険者、国民及び医師等の**責務を明らかにし**、並びに肝炎対策の推進に関する指針の策定について定めるとともに、肝炎対策の基本となる事項を定めることにより、**肝炎対策を総合的に推進することを目的とする。**

Yoshinobu Tanaka

22

## 肝炎対策の推進に関する基本的な指針



- ◆ 2011年5月16日
- ◆ 第1 肝炎の**予防及び肝炎医療の推進**の基本的な方向
- ◆ 第2 肝炎の**予防のための施策**に関する事項
- ◆ 第3 肝炎**検査の実施体制及び検査能力の向上**に関する事項
- ◆ 第4 肝炎**医療を提供する体制の確保**に関する事項
- ◆ 第5 肝炎の**予防及び肝炎医療に関する人材の育成**に関する事項
- ◆ 第6 肝炎に関する**調査及び研究**に関する事項
- ◆ 第7 肝炎医療のための**医薬品の研究開発**の推進に関する事項
- ◆ 第8 肝炎に関する**啓発及び知識の普及並びに肝炎患者等の人権の尊重**に関する事項
- ◆ 第9 その他肝炎対策の推進に関する重要事項

Yoshinobu Tanaka

23

## 和解「基本合意」



- ◆ 2011年(平成23年)6月28日  
原告・弁護団と国で「基本合意」



Yoshinobu Tanaka

24

## 和解「基本合意」



- ◆ 菅首相の謝罪「国の責任」を認める



Yoshinobu Tanaka

25

## 「基本合意書」



- ◆ 第1 責任と謝罪
- ◆ 国(厚生労働大臣)は、集団予防接種等の際の注射器等の連続使用により、B型肝炎ウイルスに感染した被害者の方々に**甚大な被害を生じさせ、その被害の拡大を防止しなかったことについての責任を認め、感染被害者及びその遺族の方々に心から謝罪する。**

Yoshinobu Tanaka

26

## 「基本合意書」



- ◆ 第5 恒久対策等
  - ◆ 2 国(厚生労働省)は、集団予防接種等の際の注射器等の連続使用によるB型肝炎ウイルスへの**感染被害の真相究明及び検証を第三者機関**において行うとともに、再発防止策の実施に最善の努力を行うことを約する。
- ⇒これが、「**集団予防接種等によるB型肝炎感染拡大の検証及び再発防止に関する検討会**」

Yoshinobu Tanaka

27

## 特別措置法



- ◆ **特定B型肝炎ウイルス感染者給付金等の支給に関する特別措置法**
- ◆ 2011年(平成23年)12月16日公布
- ◆ 2012年(平成24年)1月13日施行

Yoshinobu Tanaka

28

## 「基本合意書(その2)」

- ◆ 2015年(平成27年)3月27日
- ◆ 全国B型肝炎訴訟原告団・弁護団と国(厚生労働大臣)が、死亡または肝がん・肝硬変の発症から20年を経過した方の和解を合意した。
- ◆ 発症後20年経過の原告が多数存在
- ◆ 現在、民法改正案の国会上程が予定され、20年経過で権利が消滅する解釈が変更されようとしている。
- ◆ 和解を選択する道と、差のない解決を求めて裁判する方
- ◆ 救済の道は広がった!

Yoshinobu Tanaka

29

## 真相究明・再発防止検証会議

- ◆ 「集団予防接種等によるB型肝炎感染拡大の検証及び再発防止に関する検討会」
- ⇒ 第1回 2012年5月31日から
- 第12回 2013年6月18日まで



Yoshinobu Tanaka

30

## 全面的B型肝炎訴訟の解決を!

- ◆ 検証会議20名の構成員のうち、B型肝炎訴訟原告団2名、弁護団1名



Yoshinobu Tanaka

31

## 全面的B型肝炎訴訟の解決を!

- ◆ こどもをなくした悲しみ、
- ◆ 差別を受けた悔しさ、
- ◆ 母子感染の苦しみ、
- ◆ このような苦しみを繰り返すつもりですか。



Yoshinobu Tanaka

32



## 全面的B型肝炎訴訟の解決

- ◆ 当時の厚生省担当者へも、調査
- ◆ 1,000名を超える被害者の実態調査



Yoshinobu Tanaka

## 検証会議 終了にあたっての声明

- ◆ 真相究明について
- ◆ WHOからの勧告がなされる前に既にわが国で昭和20年代から注射器の不十分な消毒によって肝炎ウイルスが感染する可能性があることが指摘。

Yoshinobu Tanaka

## 検証会議 終了にあたっての声明

- ◆ 真相究明について



Yoshinobu Tanaka

## 検証会議 終了にあたっての声明

- ◆ 真相究明について
- ◆ 「集団予防接種等の際の注射針・注射筒の交換について適切な時期に適切な方法で指導・周知を行っていたら、回避可能な問題であった」

Yoshinobu Tanaka

## 検証会議 終了にあたっての声明

### ◆ 再発防止について

- ◆ 「国は、国民の生命と健康を守ること、そしてそれを通して個人の尊厳と人権を守ることを最大の使命として、厚生労働行政に全力を尽くすべきである。」

Yoshinobu Tanaka

37

## 検証会議 終了にあたっての声明

### ◆ 再発防止について

- ◆ 予防原則の徹底が不十分であったこと、**国の体制と体質に問題**があったことを指摘
- ◆ 「省としてこれまでの**組織・体制の問題点を洗い出し、十分な改善策を講じること**」を求めている

Yoshinobu Tanaka

38

## 検証会議 終了にあたっての声明

### ◆ 原告・弁護団の求める再発防止について

- ◆ 「先進知見の収集・分析・評価・伝達等が十分になされておらず、加えて、公衆衛生の推進の観点から予防接種の効率性を重視し、結果、リスク認識を適期に更新してリスクの管理・対応を適切に行うことができなかった」と指摘

Yoshinobu Tanaka

39

## 検証会議 終了にあたっての声明

### ◆ 原告・弁護団の求める再発防止について

- ◆ 国民の生命健康に危害が生じた事件及びそのおそれがある事件について、**法的責任とは別に原因究明のための調査、被害救済及び再発防止策を検討することが必要不可欠**

Yoshinobu Tanaka

40

## 検証会議 終了にあたっての声明

### ◆ まとめ

- ◆ 国(厚生労働省)、自治体、医療従事者においては、検証会議の提言を真摯に受け止め、**再発防止策の実現**に尽力されることを求める

Yoshinobu Tanaka

41

## 検証会議 終了にあたっての声明

### ◆ 原告・弁護団の求める再発防止について

- ◆ 真の再発防止のためには、政策推進部門とは独立した**第三者機関を設置**し、その第三者機関において、予防接種行政にとどまらず**厚生行政全般について、先進知見や事例の収集・分析**を行う

Yoshinobu Tanaka

42

## 検証会議 終了にあたっての声明

### ◆ まとめ

- ◆ 厚生労働省に対して、**再発防止策を全うするための組織のあり方の議論**を続ける場を速やかに**設置**するよう求める。

Yoshinobu Tanaka

43

## 検証会議 終了にあたっての声明

### ◆ まとめ

- ◆ 私たちは、**未曾有の被害を受けた原告・弁護団**として、二度と私たちのような被害者が生じないように**適正な厚生行政**が行われるように引き続き改善を求める**発言、監視等の活動**を行っていくことを誓う。

Yoshinobu Tanaka

44

## 医原病の真実！



- ◆ **1948年 ジフテリア予防接種禍事件**
  - ・ジフテリア菌による伝染病
  - ・飛沫感染により気管粘膜で繁殖し、喉が腫れ上がり気道がふさがり呼吸困難で窒息死することもある。
  - ・京都(68名)、島根(16名)で84名が死亡
  - ・原因は、ワクチンに毒素が残っているものがあった！
- ◆ **1960年代 サリドマイド事件**
  - ・原因は睡眠薬、つわりの治療薬。
  - ・世界中で多数の奇形児を生み出し薬害史上有数の悲劇！

Yoshinobu Tanaka

45

## 医原病の真実！



- ◆ **1980年代 薬害エイズ事件**
  - ・原因は、ヒト免疫不全ウイルス (HIV) に感染した外国の供血者からの血液を原料に製造された血液凝固因子製剤を、ウイルスの不活性化を行わずに流通させ、治療に使用した！
- ◆ **2010年 子宮頸がんワクチン被害事件**
  - ・ワクチンの副反応で、疼痛または運動障害、失神等
  - ・2013年 全国子宮頸がんワクチン被害者連絡会設立

Yoshinobu Tanaka

46

## 全面的B型肝炎訴訟の解決を！



- ◆ **命の問題**
  - ⇒被害者の個別救済を早期実現
  - ⇒患者会、講演会、原告団の集まり
- ◆ **恒久対策**
  - ⇒肝炎患者が安心して治療を受けられる制度
- ◆ **真相究明、再発防止**
  - ⇒「集団予防接種等によるB型肝炎感染拡大の検証及び再発防止に関する検討会」
  - ⇒医療行政 医原病を無くすために **「第三者組織」**



Yoshinobu Tanaka

47

## 全面的B型肝炎訴訟の解決を！



- ◆ **肝硬変・肝がん患者の医療費助成制度の創設！**
- ◆ **医療と政治、社会に興味関心を！**
- ◆ **運動を創り上げるのは被害者と支援者自身です！**

一生に一度は肝炎ウイルス検査を受けましょう

- ウイルス検査は簡単な血液検査で済みます。
- 委託医療機関、また地域の保健所で無料で受けられます。
- ※自治体によっては年齢によって有料であったり、予約が必要な場合もございますので、ご確認ください。



Yoshinobu Tanaka

48